

旧約聖書エレミヤ書 1 章 11 節~12 節に (シャーケード) と (ショーケード) と、2 つの言葉が括弧書きされていますが、これは何を意味しますか。

ご質問の日本語本文(新共同訳)は以下の通りです。

1:11 主の言葉がわたしに臨んだ。「エレミヤよ、何が見えるか。」わたしは答えた。「アーモンド (シャーケード) の枝が見えます。」

1:12 主はわたしに言われた。「あなたの見るとおりだ。わたしは、わたしの言葉を成し遂げようと見張っている (ショーケード) 。」

上記の通り、アーモンド (シャーケード) および (ショーケード) と括弧書きが付け加えられています。

そこで、口語訳、新改訳、文語訳ではどうなっているか調べてみましたが、括弧書きはなく、また **Amplified Bible**(詳訳聖書)を含めて複数の代表的な英語訳もあためてみましたが、ここでも括弧書きはなく、その意味でこの新共同訳には大変興味を抱きました。

ヘブライ語本文では「アーモンド」に **שֶׁקֶד** (シャーケード) という名詞が使用されており、「見張る」という言葉には **שָׁקֵד** (ショーケード) という能動分詞が当てられています。これはヘブライ語の語呂合わせであり、語呂合わせすることにより神様は常に「見張っておられる」という言葉をより印象づける意味があったのではないか。新共同訳はそのあたりのニュアンスを表現するためにわざわざ括弧書きで原文の響きを伝えてくれているのではないか、と思われれます。このような括弧書きは新共同訳の創世記 2 章 23 節などにも見られます。

人は言った。「ついに、これこそわたしの骨の骨 わたしの肉の肉。
これをこそ、女 (イシャー) と呼ぼう まさに、男 (イシュ) から
取られたものだから。」

なお、大部分の英語訳は、「見張る」という言葉に対して、"watch" (注視する) という言葉をあてています。 以上